

一般質問

2月24日、27日の本会議で、17人の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

調布保谷線交差点の1日も早い改善に全力で取り組み



日本共産党 森 徹 議員

議員 調布保谷線と堀合通り(市道四号線)との交差点の危険な構造については4年前から指摘しているが、その後、調布保谷線が全線開通し、現在に至るまで安全対策は一向に進まない。昨年12月、交差点の改善を三鷹警察署に直接要望したところ、現地を見て検討するとの回答を得た。また、日本共産党都議団を通じて警視庁に申し入れた際、警視庁担当者は「市道側に信号機が設置されていないことは考えられない」とのことだった。市は同交差点の改善に向けて、改めて東京都、警視庁、三鷹警察署との協議を進め、具体化に努力をしてみたい。



調布保谷線と堀合通りとの交差点

議員 堀合通りは第三小学校の通学路だ。教育委員会から、都教育委員会に申し入れてもらいたい。
議員 都市整備部と連携しながら要望していく。
議員 全線開通後、市は現地調査をしてきたか。
市長 市道との接続箇所の現地確認、交通安全対策地区委員会からの意見聴取、学校関係者と連携した通学路の見回り等を行っている。
議員 塚交差点と上連雀一之橋南交差点の30m区間に、当初計画された横断歩道が設置されていない。ムーバスのルート変更でバス停が道路反対側に移動したこともあり、地元市民が不便を強いられている。このことをどう考えているか。
都市整備部長 道路管理者と交通管理者との協議の結果であると認識している。
議員 2年間で通過交通量の危険性を市長も十分認識しているにもかかわらず、

障がい種別にかかわらず等しいサービスの提供を



日本共産党 大城 美幸 議員

なぜ改善が進まないのか。地元の要望が警視庁に届いていないのではないかと。市長 声は届いており、一定の問題認識を共有しているはずだと考えている。

議員 昨年4月に障害者差別解消法が施行されたが、障がいの特性に配慮した取り組みの推進にはまだ課題が山積している。はじめに、「三鷹市職員の障がい

を理由とする差別解消推進対応要綱」は、職員に周知徹底されているのか聞く。
市長 文書による周知とともに、研修を実施した。引き続き、周知に努めていく。
議員 精神障がい者や難病の人は、身体障がい者等と比べて福祉サービスに格差があるようだ。どんな障がいでも等しくサービスが受けられるようにすべきだ。
市長 法外のサービスで違いがあることが課題と認識している。今後も利用者ニーズを把握し、適切なサービス提供に努めていく。
議員 精神障がい者にも手当を支給してはどうか。
健康福祉部長 現時点では支給は考えていない。
議員 障がい者等の生活と福祉実態調査から、障がい者自身と介護する家族の高齢化がうかがえる。課題の

PTAの加入は任意であると周知せよ



いのちが大事 嶋崎 英治 議員

議員 格差と貧困拡大社会の中、複数の仕事をし生活

ていないか。PTAの入会・退会の任意性について規約や会則で定めるべきだ。
教育長 規約に明文化している学校もある。保護者への説明会等で入会・退会は任意と説明するように、各校のPTAに伝えている。
議員 役員を選任の際、帰ることが許されない状況の中で決められ、ストレスを感じるとの声がある。役員選任について所見を伺う。
生涯学習担当部長 各校のPTAに対し、役員や委員の選任に当たって無理のないよう配慮を求めている。
議員 学校は個人情報やPTAに提供する場合は、どのような手続きをとるのか。
生涯学習担当部長 保護者

社会教育は教育委員会の責任で行うよう求める



いのちが大事 伊沢 けい子 議員

議員 本市では、社会教育会館本館や東西児童館において社会教育活動が50年に行われてきた。しかし、昨年3月、社会教育会館条例が廃止され、新施設である生涯学習センターで行われる事業は、これまで大きく内容が変わる。まず、社会教育会館は全室無料で利用できたが、生涯学習センターでは受益者負担の名のもとに有料化された。次に、市教育委員会は、社会教育に関する事務を市長部局に補助執行させることになったが、学校教育と並び中心的な業務の一つである社会教育を補助執行させることは、補助執行の概念を逸脱すると思われる。戦後、教育

自身に書面に記入して提出してもらう、または、入学時の説明会等で了承を得て提供していると聞いている。
議員 公益社団法人日本PTA全国協議会と学校単位のPTAとの関係を伺う。
生涯学習担当部長 本市のPTAは、加入していない。
議員 熊本市の公立学校で起こったPTAの強制加入問題が訴訟になっている。本市の認識を伺う。
教育長 本年2月に和解除立との情報を得ている。本市でも、任意加入と伝えるとともに、PTAがより自発的で効果的な活動となるよう働きかけていきたい。
その他の質問 三鷹市職員の労働安全衛生について

委員会は市長部局との独立性を保つため、業務を分け行ってきたにもかかわらず、社会教育そのものを市長部局に補助執行させるのは法的に問題ではないか。
教育長 社会教育法の中では、社会教育を含む生涯学習の振興は地方公共団体が行うことになっており、市長部局と連携して一体的に業務を行うことは、法的に問題ないと認識している。
議員 社会教育に関する最終的な権限・責任は、教育委員会にあるのではないか。
教育長 本市では、社会教育を含む生涯学習として、一体的、総合的に業務を進めていくが、教育委員会としての責任・役割がなくな

市民に寄り添い、暮らしを支えるまちづくりを



いのちが大事 野村 羊子 議員

議員 学校徴収金、入学時に一括購入する教材や制服など、義務教育での保護者負担が相当あることについて、教育長の所見を伺う。
教育長 教材等を教育的効果の高い必要最小限にするなど、更なる負担軽減の検討を各学校に指導したい。
議員 保護者負担軽減のため、学校事務職員の専門的役割を發揮させるべきだ。
教育長 契約手続きや業者選定方法などに精通する職員の専門性を負担軽減に生かすように働きかけたい。
議員 汚れたプラスチック

ごみの収集作業
議員 既に市内で被害が生じたように言われるが、被害はあってはならない。住民への影響を極力縮減し、情報提供をしよう、工事業者・国に求めていく。
議員 中央ジャンクション準備工事で3回も大きな振動が続いた。市民の不安の声を市が直接聞き、調査を行う体制ができないのか。
広域まちづくり等担当部長 まず事業者に安全確保と第三者点検を働きかける。



ごみの収集作業

適正な民泊運営を進め地域経済振興に活用せよ



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

議員 外国人観光客が増えている昨今、民泊の活用が広まっている。空き家等を有効活用し、観光振興、地域経済振興等に寄与させる